

参加希望者 殿

独立行政法人水資源機構分任契約職
筑後川下流総合管理所長 北村 達也
(公 印 省 略)

見 積 依 頼 書

- 1 工 事 名 中川副分水工監視通報装置整備 (オープンカウンター方式)
2 工 事 場 所 佐賀県佐賀市木原2丁目地内
3 工 期 契約締結の翌日から90日間
4 内 容 等 別添、仕様書等のとおり

上記について、下記により見積合わせを行いますので競争契約入札心得等を熟覧のうえ提出して下さい。

記

- 1 現 場 説 明 実施しません。
- 2 見積参加要件 福岡県又は佐賀県に本・支店又は営業所がある者で、令和7・8年度一般競争（指名競争）有資格業者のうち、工種「電気工事」の認定を受けている者。
- 3 見積書等
- 1) 様 式 等 見積書の様式は任意としますが、見積書には見積年月日並びに見積者の住所及び氏名（法人の場合は、法人名及びその代表者名）を記載し、代表者の印章を押印されたものに限ります。ただし、押印は「本件責任者及び担当者」の氏名及び連絡先を明記することで省略することができます。また、余白にくじ番号を記載して下さい。
- 2) 提出方法 FAX(又は電子メール)による。(※FAX番号等は、4)に記載された番号)
なお、FAX(又は電子メール)に抛りがたい場合は、持参又は郵送(簡易書留等配達記録が残る方法に限る。)
- 3) 見積書提出期限 **令和7年8月7日 11時** まで
- 4) 提出先 独立行政法人水資源機構 筑後川下流総合管理所 経理課 鶴川
FAX 0942-26-1525
総務課 電子メール nyukei_chikugokaryu@water.go.jp
- 5) 質問書提出期限 **令和7年8月4日 11時** まで
※質問の回答については、翌平日の12:00までにHPに掲載します。
- 6) 見積回数 2回を限度とする。
なお、当初の見積徴取において予定価格の制限に達した価格の見積書がない場合の再度の見積書の提出については、改めて連絡するものとし、再度の見積書提出期限は、**令和7年8月8日 11時** までとします。
- 6) そ の 他 ①見積価格は、見積者が消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を見積書に記載してください。
②見積書を送信した後は、見積書の引き換え若しくは変更又は見積の取消しはできません。また、見積者は見積り誤り、見積書の書き誤り等を理由に見積りの無効を主張することはできません。
- 4 見積結果 見積結果については、**契約の相手方として決定した者のみに、原則として提出期限の翌日（翌日が休日となる場合には休日でない直後の日）までに通知**します。
- 5 そ の 他
- 1) 契約金額は、見積書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）とします。
- 2) 請負代金の支払いについては、履行確認後の一括支払となります。
- 3) 最低金額を提出した見積者が複数ある場合は、「くじ」により契約の相手方を決定します。くじの方法は、別添「くじの方法」のとおりとします。

中川副分水工監視通報装置整備

仕 様 書

令和 7 年 8 月

独立行政法人水資源機構
筑後川下流総合管理所

第1節 適用

この仕様書は、独立行政法人水資源機構（以下「機構」という。）が施行する中川副分水工監視通報装置整備（以下「本件」という。）に適用する。

第2節 契約内容

1. 場所

佐賀県佐賀市木原2丁目地内

2. 期間

契約締結の翌日から90日間

3. 概要

本件は、中川副分水工に設置している監視通報装置の整備を行うものである。

4. 数量

監視通報装置 通信モジュール 整備 1式

第3節 整備内容

1. 既設監視通報装置の通信モジュールをFOMA対応からLTE対応に交換するものとする。

既設監視通報装置仕様

1) 型式

SA201X

2) 製造者

小松電機産業株式会社

2. 通信モジュール交換に伴い必要となる通信会社等への申請等は、受注者にて実施するものとする。

3. 通信モジュール交換に対する、既設監視通報装置の設定変更を実施するものとする。

4. 通信モジュールの交換及び設定変更後、通信試験を実施し、正常に稼働することを確認するものとする。

第4節 提出図書

受注者は、次に掲げる図書を作成し、機構に提出するものとする。

提出図書名	部数	提出期限	摘要
作業計画書	1部	現地着手の20日前まで	通信モジュール資料、作業工程表、作業手順書等含む
作業報告書	1部	作業完了後	作業概要、製品仕様書、試験成績書、作業報告書、作業写真等

第5節 疑義

受注者は、仕様書に明記されていない事項又は仕様書に疑義が生じた場合は、速やかに機構と協議するものとする。

く じ の 方 法

今回の見積徴取に際して、最低金額を提出した見積者（以下「同価格者」という。）が複数あった場合、以下の方法により、契約の相手方を決定します。

1. くじの方法について

同価格者の「くじ用数値」の合計を同価格者数で除算し、余りの数値と「くじ用順位」が一致する者を、契約の相手方とします。

2. くじ用数値について

1) 「くじ用数値」とは、見積書を提出される方が、任意に決定していただく「0：ゼロ」から「999」の3桁の整数とします。なお、数値の記載等がない場合は「0：ゼロ」として取り扱わせていただきます。

2) 「くじ用数値」の機構へ対しての通知方法は、機構から送信（FAX）した見積依頼書の受信確認を機構に対して返信（FAX）する際に記載してください。この場合、機構から特に受信確認に用いる様式の指定がない場合は、通信欄などに下記のように記載してください。

記載例)

くじ用数値		
1	2	3

※数字は、明確に記載してください。

3. くじ用順位について

「くじ用順位」とは、同価格者が機構に対して見積書を送信（FAX）していただいた順に、「0：ゼロ」から順に付番させていただく番号となります。

- 例)
- ・同価格者が2者の場合、見積書の送信順に「0：ゼロ」、「1」
 - ・同価格者が3者の場合、見積書の送信順に「0：ゼロ」、「1」、「2」

4. 具体的な決定方法について

例) ・同価格者が2者の場合

見積業者	見積額	くじ用順位	くじ用数値
〇〇工務店	¥500,000-	0	123
□□工業	¥600,000-		999
△△組	¥500,000-	1	4

$123+4=127$

$127 \div 2 \text{ 者} = 63 \text{ 余り } 1$

・余り「1」とくじ用順位「1」が合致する、
△△組 が契約の相手方となる。

例) ・同価格者が3者の場合

見積業者	見積額	くじ用順位	くじ用数値
〇〇工務店	¥500,000-	0	123
□□工業	¥600,000-		999
△△組	¥500,000-	1	4
◎◎工業	¥500,000-	2	1

$123+4+1=128$

$128 \div 3 \text{ 者} = 42 \text{ 余り } 2$

・余り「2」とくじ用順位「2」が合致する、
◎◎工業 が契約の相手方となる。

令和 年 月 日

独立行政法人水資源機構分任契約職
筑後川下流総合管理所長 北村 達也 殿

住 所
会 社 名
代表者氏名

見積依頼書等の交付受領書

令和7年8月1日に交付された中川副分水工監視通報装置整備の見積依頼書等を受領しました。

〈連絡先〉

担当部署名：

担 当 者：

電 話 番 号：

F A X 番 号：

電子メール：

◆くじ用数値

--	--	--

「くじ用数値を記載いただくのは、最低価格者が複数となった場合に契約の相手方を決定するためです。詳細は「くじの方法」をご覧ください。